

## 会 議 録

名 称	令和5年度 松山市子ども・子育て会議（第2回）		
事 務 局	こども家庭部 こどもえがお課 TEL 089（948）6039 FAX 089（934）1822		
開催日時	令和6年3月18日（月） 午後2時～午後2時30分		
開催場所	松山市青少年センター3階 大ホール		
出席者	委 員	安藤 有紀 委員、井上 もと子 委員、上岡 周介 委員、鵜久森 克委員 宇津見 亮子 委員、香川 実恵子 委員、鬼頭 裕美 委員 小助川 元太 委員、田中 美紀 委員、友川 礼 委員、中岡 彩 委員 濱田 由紀 委員、村上 出 委員、森 公夫 委員、安永 耕造 委員 吉野 亜祐美 委員（五十音順） 合計16名	
	事務局	こども家庭部 部長 宇野 哲朗、副部長 八塚 健、副部長 安藤 省吾、 副部長 篠森 紀子、こどもえがお課 課長 高橋 邦光ほか 合計25名	
議 題	第3期松山市子ども・子育て支援事業計画等策定に伴うニーズ調査の結果について		
備考（資料）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度 第2回 松山市子ども・子育て会議 次第</li> <li>・令和5年度 第2回 松山市子ども・子育て会議 配席図</li> <li>・松山市子ども・子育て会議委員名簿</li> <li>・資料1 ニーズ調査結果について</li> <li>・資料2 松山市こども計画について</li> <li>・資料3 今後の松山市子ども・子育て会議のスケジュールについて</li> <li>・参考資料1-1 ニーズ調査単純集計（就学前）</li> <li>・参考資料1-2 ニーズ調査単純集計（小学生）</li> <li>・参考資料2 こども大綱（概要）</li> </ul>		
公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 全部公開	<input type="checkbox"/> 部分公開	<input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0人（2席）		

議事内容

1. 開会
2. 確認事項
  - (1) ニーズ調査結果について
  - (2) 松山市こども計画について
  - (3) 今後の松山市子ども・子育て会議のスケジュールについて

3. 閉会

【委員からの意見等】

●資料1「ニーズ調査結果について」

・重点的に取組を期待するものとして、「放課後児童クラブ」「児童館・児童センター」との意見が多くあったため、ニーズ調査結果を汲み取った計画づくりをお願いしたい。

・報告書については、円グラフなどを活用し、視覚的にも分かりやすいものとしていただきたい。

・第2期計画の振返り等だけではなく、今回のニーズ調査結果と第2期の調査結果の比較分析等も必要。全て同じ項目で調査を行っていないことは承知しているが、状況や課題等の把握のためには、この作業が必要だと考える。また、今回の調査では、「放課後の過ごし方」について、直接お子様の声を聞いていることから、是非、計画に反映させていただきたい。主体は、子どもたちであるため、子どもの声をしっかりと聞いた計画を策定していただきたい。

●資料2「松山市こども計画について」

・松山市障がい児福祉計画はどのような位置づけとなるのか。また、資料に記載されているこども施策に関する個別計画のほかに、こどもに関する計画はないのか。

→(事務局)松山市障がい児福祉計画については、松山市障がい福祉計画と一体的に策定しているが、こども大綱(令和5年12月22日閣議決定)の中で「全てのこども・若者を誰一人取り残さない」旨が謳われているため、資料に記載しているこども施策に関する個別計画以外については、今後整理を行い、幅広くこども計画に反映させたい。

・障がい福祉計画と松山市こども計画は全く別物ではなく、相互に勘案されたものになるのか。

→(事務局)全く別物ではなく、障がい福祉計画の内容を反映し、同じ方向性も持って、こども計画を作成したい。

・今のままだと、障がい児の親御さんから、こども計画の中に障がい児に関する事項が入っていないと思われる可能性があるが、考えをお聞かせいただきたい。

→障がい児の事項を除外するというのではなく、計画そのものが分かれていることもあることから、どのようにするかは今後担当課と対応を検討していきたい。

・4月頃から各種アンケート、ワークショップ等を行うとのことだが、実施する前に本会議で審議するのか。また、ワークショップの内容はどのようなものなのか。

→(事務局)作業期間がタイトであるため、場合によっては文書で御意見を頂戴したいと考えている。ワークショップの内容は、今後検討予定。

・回収率アップのための取組についてどのようにお考えか。

→対象者を抽出するのではなく、全てのこどもや若者を対象としていることから、回答率を前提としているアンケート調査ではない。幅広く、こどもや若者から意見を伺い、その意見を施策や取組に反映していくこととしている。